



2019年2月15日
第643号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替0960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)
発行人 大橋 裕子
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

「君が代」不起立
減給処分取消訴訟

最高裁判所に抗議します

辻谷博子組合員が2014年1月に大阪地裁に提訴(その後、大阪高裁に控訴、最高裁に上告)した「君が代」不起立減給処分取消訴訟に対して、昨年4月18日に最高裁が上告棄却・不受理を決定していたことが、今年の1月11日に判明しました。組合は最高裁に強く抗議の意を表します。



を訴えてきました。しかし、司法は何ら審議をせず判断を回避したといえます。「戦争する国」に突きすすむ政府に付き従うだけでは最高裁判所の存在意義すら感じられませんか。

「日の丸」を掲げ「君が代」を斉唱することは抑制的でした。しかし、1999年の「国旗国歌法」制定以降、学校における愛国心教育の一環として「日の丸・君が代」が押しつけられてきたのです。さらに大阪府では、「君が代」強制条例と職員基本条例の組み合わせによって、抵抗する教員を排除しようとしてきたのです。辻谷組合員らの行動は、その危険な動きに対するささやかな、しかし凛とした不服従運動なのです。

回総会が、国労会館で開催されました。西原意見書をもとに空野弁護士が講演され、「減給処分は裁量権の逸脱にあたること」「大阪における処分メカニズムは、思想良心の自由に対する直接的な侵害にあたること」を明確に論じられました。

また、辻谷組合員は、現在勤務されている大阪市では中学校が「チャレンジテスト」などの点数で子どもや学校を序列化し、教育にメリット・ペイを導入しようとしている危険性をわかりやすく指摘し、これからも大阪の教育を考えていく決意を明らかにされました。増田俊道(書記次長)

「君が代」強制条例の違憲性について判断せず
辻谷組合員は、処分を下した府教委に対する人事委員会への不服申し立てから一貫して、「大阪府の施設における国旗の掲揚及び教職員による国歌の斉唱に関する条例」(「君が代」強制条例、2011年6月13日公布施行)の違憲性

「日の丸・君が代」は愛国心高揚の道具
アジア・太平洋戦争中に学校教育において果たした「日の丸・君が代」の役割を反省して、戦後は学校の儀式に

前を向いて活動を広げる辻谷組合員
2月2日、教育基本条例下の辻谷処分を撤回させるネットワーク(Tネット)の第7

学校で働く「非正規」労働者の雇用継続を組合とともに勝ち取ろう!

19 臨時職員・講師
雇用継続要求のたたかい

2月8日、大阪府庁前で臨時職員・講師の雇用継続を要求する集会が行われました。寒波襲来で冷え込むなか組合員たちが集まり、大阪府の学校現場で働く「非正規」労働者への雇用責任の追求と各支部からの取り組みの状況が報告されました。



大阪市ではこの時期、講師に対しても次年度の意向についてヒアリングが行われます。しかし、ヒアリングは各校の校長に任されるため、適切に実施されない状況があり、常に組合の監視が必要であるこ

とが報告されました。大阪市、堺市、豊中市など独自に任命権を持つ自治体とは、それぞれ交渉が行われます。また、南河内支部など市町村教委で

働く組合員たちは、大阪府に雇用要求を提出するとともに、市町村教委とも交渉を行い、次年度の雇用について協議をしています。

当たり前のように雇用が更新されてきた臨時職員・講師の人たちが、ある時、突然に次年度の職がないという状況になり組合に相談されるケースがよくあります。一方、常に教員が欠員といった異常な状態も明らかになっています。抜本的な解決のためには、現在の登録制度を改め計画的に正規化していかなければならないことは明らかです。一人の力は小さくても、多くの仲間とともに声をあげていきましょう。

酒井さとえ(書記長)

建国記念の日反対！「日の丸・君が代」処分撤回！

2.11「戦争する国」も「神の国」もゴメンだ！集会開催

今年も2月11日の「建国記念の日」に反対する集会が、大淀コミュニティセンターで開催されました。会場が早々に満員。2019年に行われる天皇の代替わりと2020年の東京オリンピックとパラリンピック（以下、オリパラ）が、福島の隠蔽と言論の自由停止と憲法改悪へとつながるシナリオへの危機感の現れだと感じました。

なぜ国歌など/ものものしくうたう必要がありましょ
う私は立たない/座っています
一橋大学言語社会研究科の鶴飼哲さんの講演は、まさにこの危機感に答える展開でした。茨木のり子さんの詩「鄙



ぶりの唄」から始まり、天皇だけでなく皇族達がスポーツや文化行事に登場し続けていること、さらに1964年の東京五輪が昭和天皇裕仁の国際社会への復帰であり、2020年大会は新天皇の国際社会へのお披露目となるなど、天皇制と日本開催の五輪との関係について述べ、このような関係が戦前からあるとしました。また祝祭となるオリパラが人々

の批判を許さない権利停止を生み、今の日本の情報提供の破壊状態では本当にどのような問題点も検証できなくなる懸念も指摘されました。

「人間宣言」はなされなかった?!
～戦後天皇制の原点の検証～

また、近年の研究成果として、天皇の「人間宣言」という呼称が実はのちのメディアの忖度の所産であること、朝鮮・台湾の人々とアイヌ・沖縄の人々が、あるときは臣民として、あるときは国民として、取り込んだり排除したりしたカラクリが憲法1条と10条に存在することを指摘され、法律や文化の中に存在する天

皇制が私たちの社会と価値観に歪みをもたらしていることをわかりやすく説明されました。

ZAZAメンバーと東京からはひのきみ処分とたたかう教員たちの連帯メッセージ、子どもたちに渡すな！危ない教科書・大阪の会からは道徳教科書の採択の報告、子どもをテストで追い詰めるな！市民の会からは大阪市をヒューマンチェーンで囲もうとの行動提起、ほか、多くの団体がアピールし、最後は歌いながらデモ行進に出発しました。

五十里元子（南河内）

訂正：第642号二面

（誤）半澤慎二 （正）半澤慎次

おおさかユニオンネット春闘決起集会開催！



ユニオンみえの廣岡法浄書記長

今年も春闘に向け、2月12日エルおおさかにて、おおさかユニオンネット春闘決起集会が開催されました。

4月から始まる外国人労働者受け入れ拡大を視野に入れ、ユニオンみえの廣岡法浄書記長による「外国人労働者の現状と組織化」と題した記念講演が行われました。冒頭、廣岡書記長は、「今日はみなさんをオルグするつもりでやって来ました。一緒に外国人労働者の問題に取り組みましよう」と呼びかけられました。昨年末に起きた、シャープ亀山工場の外国人労働者3千人雇い止め問題等を事例に上げながら、外国人労働者の組織化についてお話されました。外国人労働者が加入している組合からは、質問が相次ぎました。

不当弾圧が続いている連帯ユニオン関西生コン支部や労契法20条裁判を闘っている郵政ユニオン等からの争議報告も行われました。教育合同は、現在府労委にかかっている数々の大阪府事件について報告し、臨時職員・講師の継続雇用獲得等について強い決意を表明しました。共闘労組と共にこの春闘を闘い抜きましょう！

大椿裕子（執行委員長）

文化おちこち

(213)

映画・演劇・音楽は自由をめざす！
【その8】



映画「バハールの涙（'18仏、ベルギー、ジョージア、スイス エウ・ア・ウッソン監督）

イラククルド人自治区の女性弁護士バハールはISの襲撃を受ける。家族を虐殺された上、子どもを奪われ、そして自らは奴隷として売られてしまう。数週間での転売を繰り返された後、救援組織に助けられる。同じ境遇である奴隷出身の女だけの戦闘部隊長としてISに挑む。我が

子を取り戻すことを夢見て。自らを鼓舞する言葉は「女と命と自由の時代」。女性に殺されると天国に行けないと信じるIS戦闘員に怖れられる。

もう一人登場する女性は戦場ジャーナリスト。戦闘に巻き込まれ片眼を失ったが、子どもを残して取材を続けている。戦場での死は肉体の破壊である。二人の身体細部の描写は、かろうじて死を免れているというリアリティである。それはアイパッチで覆われた左眼とカメラを覗く右眼、TVが伝える救援団体の電話番号を何度も唱えて暗記する唇、命綱である携帯電話のSIMカード潜ませる口腔、砂ぼこりで真っ白になった顔を伝う涙。女性兵士役のゴルシフテ・ファラハニはイラン出身で、「彼女が消えた浜辺（'09）イアスガー・ファルハディ監督（ベルリン映画祭監督賞）」等イラン映画に出た後、娯楽映画「パイレーツ・オブ・カリビアン/最後の海賊（'17）米」にも出演。

田中浩昭・（高校支部）

当面の日程

2月22日（金）18時45分～ エルおおさか南館72 大阪全労協学習会
「労働者代表選挙！ 労働者代表って何？ どう活用するの？」

2月28日（木）15時半 大阪高裁74号法廷
「君が代」不起立戒告処分撤回共同訴訟

3月6日（水）10時 大阪地裁809号法廷
岸和田支援学校非常勤看護師パワハラ解雇撤回訴訟 第7回口頭弁論



毎月勤労統計の不正が発覚 賃金、労働時間、雇用の変動を毎月把握する調査 賃金上がった上がったと言われてい

たが、実は前年同月比の伸び率の大半がマイナス 調査の不正も公文書の改ざんも居直って逃げ切る作戦の現政権 私たちの無関心が彼らをつけあがらせる